

## 御朱印あつめ(追加ルール)プレイの流れ

**【準備】** 御朱印カードを裏向きでよく混ぜたものを山札として、プレイヤー全員が手の届く場所へ置きます。御朱印帳ボード1枚と写経チップ(1~4)1セットを、プレイヤー全員は受け取り、自分の前に置きます。適当な方法でスタートプレイヤーを決めます。

〔おみくじ〕 ひいたプレイヤーにだけ適用される役が書かれた「おみくじ」が同梱されています。ゲームをはじめる前に、ひとり1枚ずつ引いて、誰にも見せないように中を確認します。得点計算時、おみくじに書かれている役を適用しましょう。

**【めくる】** スタートプレイヤーは山札の上から2枚をめくり、山札のとなりに表向きで置きます。(わかりやすいように、山札の両隣に1枚ずつ表向きに置くことをおすすめします)

**【競り】** スタートプレイヤーから右回りで順番に、めくられた御朱印カードのうち自分が欲しいと思う御朱印カード1枚に手持ちの写経チップ(1~3個まで)を賭けましょう。必ずどちらかの御朱印カードに、写経チップを最低1枚賭けてください。

**【判定】** 全員が1度ずつ写経チップを出したら、各御朱印カードをだれが競り落としたのか判定します。御朱印カードをいただくことができるのは、写経チップが一番長い組み合わせを、最初に出したプレイヤーです。

いただいた御朱印カードは自分の御朱印帳ボードのとなりか、最後にいただいた御朱印カードのとなりに並べてください。並べ替えることはできません。

競り落とされなかった御朱印カードは捨て札にします。

**【チップの処理】** 今回の競りに使った写経チップは裏返しにしてください。裏返し(「写経中」の表示)になったチップは次の競りでは使えません。

ひとつ前の競りに使用したため裏返しにしていた写経チップがありましたら、写経が終わりましたので表向きにしてください。次の競りで使用可能となります。

ない

山札が

ある→【めくる】に戻る

**【点数の計算】** カード自体の得点とカードの揃え役の得点を合わせた合計点が、一番高いプレイヤーが真の御朱印ハンターです。同点のプレイヤーが複数いる場合は、御朱印カード(はずれ)の数が少ないプレイヤーを讃えましょう。

御朱印カード(仏さま)は1枚1点、御朱印カード(特殊・仏さま)は1枚5点、御朱印カード(通常/特殊ともに、はずれ)は1枚-1点として計算します。

〔揃え役の例〕 **シャカサンソン**：「釈迦如来(普通/特殊どちらでも)・普賢菩薩・文殊菩薩」を1枚ずつ持っていれば10点(カードをいただいた順番は問わない)(釈迦三尊として仏教界では尊ばれている)。

**マングラ**：「大日如来(普通/特殊どちらでも)」を挟むように、同じ種類の御朱印カード(仏さま)が配置されていれば10点(順番が大切、例：「十一面観音・大日如来・馬頭観音」)(曼荼羅をよく見ると線対称になっていることから)。